

「滝川市立地適正化計画（素案）に係る地域懇談会」開催結果（まとめ）

●12月2日（金）江部乙支所（農村環境改善センター）

※災害級の降雪により参加者0名

●12月9日（金）東滝川地区転作研修センター（参加者：13名）

主な意見

- ①丸加高原の素晴らしい景色を売り物にしてはどうか。将来的に観光ゾーンにしてほしい。
- ②転作研修センターはコミュニティの拠点としてここ（現在地）に絶対あるべきだと思うので、将来的には整備してほしい。
- ③高齢者が多いので今後、病院等までの交通手段を考えていかなければいけない。
- ④東栄小学校をどうにかしてほしい。（解体や誘致）過去、民間が入ろうとしても用途地域の関係で入れなかった。
- ⑤公共施設更新の場合は解体含めて予算計上されると思う。利活用もあると思うが統廃合等の場合も予算計上の段階で解体費も含めて予算を組む必要があると思う。
旧東栄小学校の建物は、一応応急処置はされているが、壁はボロボロで野生動物は入っていくし、体育館の床もボロボロになっている。
- ⑥ICを降りて、右折するとき木しか見えなく、すごく田舎に来たなと感じる。
滝川の顔となるような、案内板でも良いので、滝川はこういったところだというものを何か置けないかなと思う。
- ⑦2～3年前、東滝川地区転作研修センター前の道路を工事していたが、公園の入り口で工事が止まっている。マンホールが舗装面より高く、雨が降ると道路が水たまりになる。

まとめ

- ①～③については、滝川市立地適正化計画の将来都市構造の中で大きな描きをもっている部分。今後、具体的な施策を検討する上での参考意見として取り扱う。
- ④東栄小学校については、都市計画マスタープランの改定業務の中で用途地域の検討を行う。
- ⑤～⑦については、関係所管に情報伝達を行う。

「滝川市立地適正化計画（素案）に係る地域懇談会」開催結果（まとめ）

●12月16日（金）滝川市役所（参加者：12名）

主な意見

- ①都市機能誘導区域内にスケートボードやスノーボードの練習施設があると、駅から見える景色も良くなるし、子どもや若者が駅前に集まるのでは。
- ②旧文化センターの建替え場所については、都市機能誘導区域内で計画してほしい。さらには、駅前の建物を解体しても良いと思う。
- ③JR 駅周辺は滝川の顔でもあるので、きれいにすべきでは。
- ④滝川市の強みとしては、国道が集積しており交通のかなめになっていることだと思う。特に市役所沿道である国道 38 号線沿道に強みを出してよいのでは。
- ⑤都市機能誘導区域の設定については、市役所を中心とするべきではないか、居住誘導区域の真ん中に設定しても良いのではないか、駅を踏まえて設定すべきではない、駅の移動も考えるべき。（駅を坂上に移動することは、一つの魅力づくりになると思う）
- ⑥産科は誘導施設として必要。
- ⑦人口が減少していく中で農村部に移住者を呼ぶことが魅力の創造として重要なことでは。
- ⑧居住誘導区域外にある学校が古いので学校の改修スケジュールを示していただくと市民としては希望が持てる。
- ⑨東栄小学校が閉校したことで一気に東滝川の人口が減少したと思う。江部乙小学校についても今後、他の小学校に統合されるようなことがあれば同じように人口が一気に減少すると思う。このことを防ぐには、小中一貫校を江部乙に建設するなどの対策があるのである。

まとめ

- ①～④今後、具体的な方向性等を検討する上での参考意見として取り扱う。
- ⑤都市機能誘導区域の設定についての意見があったが、立地適正化計画の検討経過において複数案作成し、可能性を検討したが今後、人口減少や少子高齢化が進展する中では、現状インフラ整備されている街区を別の街区に移すことよりも既存にあるものの再生等の対応で持続可能な都市経営を目指すことを選択したため素案どおりとする。
- ⑥誘導施設として位置づけているので、どのように誘導していくのか、今後関係所管と連携しながら具体的な施策について検討を行う。
- ⑦人を惹きつける魅力の創造において、今後具体的な施策を検討する上での参考意見として取り扱う。
- ⑧～⑨については、関係所管に情報伝達を行う。

「滝川市立地適正化計画（素案）に係る地域懇談会」開催結果（まとめ）

●12月22日（木）江部乙商工会（参加者：役員9名）

※江部乙支所（農村環境改善センター）開催において参加者0名だったため代替。

主な意見

- ①人口減少や少子高齢化の中で、子育て世代の移住・定住の推進がまずスタートでは。
- ②近隣の自治体では子どもの医療費無料化を行政サービスとして実施している。市の財政が厳しいのは理解しているが、子育て世代が安心して暮らせる仕組みが必要では。
- ③子育てしやすい環境づくりが必要。一番、力を入れるべきことでは無いか。
- ④誘導区域外として位置づけている江部乙の住民が、区域内に移住してしまうのでは。
- ⑤江部乙は観光地としての強みを持っている。ソト向きの視点として人口を減らさない取組や施策が必要では。
- ⑥駅はまちの顔であるが、商店街を含めて廃墟の部分が多い。その部分を解体して大きな夢を描いても良いのでは。そこから手を付けることで居住誘導を図ることができるのでは。
- ⑦北辰団地、江南団地は耐用年数を超過していると思う。建物を解体して新たな住宅を建設するなどの集約が必要では。また、北辰団地・江南団地・新興団地の建替については、今の管理戸数を減らしても良いと思う。そのなかで道の駅に近い江南団地を建替えて、新興団地については解体しても良いのでは。売却に係る土地の価格については、無償で良いと思う。
- ⑧江部乙小学校は昭和50年に建設し老朽化が進んでいるが改修する計画はあるのか。特にグラウンドは、雨が降るとすぐに泥濘が生じ運動会の運営に支障がでるほどである。
- ⑨閉校した江部乙中学校を民間施設（商工会議所）の活用を含めて江部乙小学校として活用しても良いのでは。
- ⑩乙ゼミの方も何か動きたいことがあれば市の協力が必要であるのでご協力いただきたい。

まとめ

- ①～③子育て環境の充実については、立地適正化計画においても屋内遊戯施設等の子育て世帯向け施設を誘導施設に位置付けるほか、誘導施策として子育て世帯の住宅取得の支援等、子育て環境の充実を図ることを盛り込んでおり、今後関係所管と連携しながら具体的な施策について検討を行う。
- ④強制的に誘導するものではないことを理解いただき、江部乙での生活も考え交通ネットワークを維持・確保していくための参考意見として取り扱う。
- ⑤道の駅をうまく活用することで観光地や居住としての魅力が生まれる施策について検討を行う。
- ⑥今後の具体的な施策を検討する上での参考意見として取り扱う。
- ⑦都市計画マスタープランの改定業務の中で江部乙地域の市営住宅のあり方についての方針をどの程度の記載にするか検討を行うとともに関係所管に情報伝達を行う。
- ⑧～⑩については、関係所管に情報伝達を行う。

※地域懇談会で頂いたご意見を受けて素案を修正する箇所はありませんが、
今後の方策・施策を検討とする上での参考とさせていただきます。